

# 議事録

## 第9回ひらつか地域づくり市民大学(第3回)

議題	誰もが参加したくなる場のつくり方と運営のコツ	
日時	2022年2月6日(日) 13:30~15:30	作成日(2021/2/8)
場所	なでしこ公民館・八幡公民館・要公民館・岡崎公民館・市民活動センター *センターと各公民館をZOOMでつなぐ	
人数	センター参加者25名(聴講生13 法人6 市関係6)	
講師	NPO法人 さくら茶屋にししば	岡本溢子理事長 阿部事務局長
テーマ	誰もが参加したくなる場のつくり方と運営のコツ	

### 第3回目の目的

市内には町内福祉村サロなど様々な居場所づくりが展開されているが、次の担い手・ボランティア不足など共通の課題を抱えている。今回はみんなが楽しく参加でき持続性を持って運営するコツを学ぶ。

**講義** **誰もが参加したくなる場のつくり方と運営のコツ** NPO幕張海浜海岸公園を育てる会 神谷副理事長

さくら茶屋のコンセプト:地域住民との協力で世代を超えた交流を促進し、かつ安全・安心・やさしさと楽しさあふれる街づくりを目指す。

いつでもだれでも自由に過ごせる場ができ世代間交流も図れる場が欲しい→横浜市まち普請に応募(500万円)。

#### 西楽団地アンケート

\* 商店街を活性化してほしい \* 軽食・喫茶の店が欲しい等意見が上がり、自分たちが築こうとしていたイメージがアンケートに現れた。

#### 活動継続には収益も大事

固定収入の確保(レンタルボックス・朝塾・イベント開催での集客など)

#### さくらカフェの開店

子どもの居場所・趣味の教室などを運営

その他、認知症カフェなど

#### 情報発信

広報誌の発行(毎月2,800世帯にボランティアが全戸配布)

#### 連携

金沢区市民活動センターと連携し市民活動、地域とのつながりづくりの応援を行っている。

#### 具体的取組

①地域の要望に耳を傾ける②物事の決定は基本全員参加③スタッフ同士の交流も大事に

#### 現在の構成

①賛助会員(170名)②正会員(80名)③協力者2~30名)

#### 大事なこと

地域づくりには拠点が必要(歩いて行ける場所が望ましい)

活動に無理は禁物、できる範囲、やれる内容で活動の参加者を増やす

楽しむこと

活動してくれる人に任せ、信じること

→ボランティアに対する成功の秘訣

#### 課題

数多くの拠点づくり

定年後の男性の参画

若手のボランティア確保

数年先を展望(継続)

### 本日の講座について(アンケートより)

	なでしこ	八幡	金目	岡崎	センター	合計	比率
①期待以上だった	0	0	0	2	2	4	16.7%
②期待どおりだった	3	0	0	6	6	15	62.5%
③よくなかった	0	0	1	1	0	2	8.3%
④わからない	1	0	1	3	2	7	29.2%
未記入	0	0	0	0	0	0	0.0%
	4	0	2	10	10	24	100.0%

### 各公民館から

#### なでしこ

- \* 次の展望は?→ボランティアはやる気生き甲斐があればそれでよい。高齢化→その時に考えればよい。
- \* 自治会等とのつながり→自分たちが力をつけることが第一。話し合いを徹底的にすることが必要。
- \* 資金→運営資金は1,100~1,400万円(助成金は10~15%程であてにはしていない。事業収入が60%)

#### 八幡

- \* 他団体との住み分け→情報交換は行っているが全体会は作っていききたい。
- \* 調理:食品衛生管理者。食材はチームリーダーが責任をもって調達している(廃棄も少ない)。
- \* 人を集めるコツ→信頼し任せて感謝する

#### 金田

- \* 次の担い手→事業の内容で誰が必要かは必然的に出てくる。全世帯に配布している広報誌での募集と声掛け。
- \* 社協とのかわり→生涯学習等は別組織が運営している。

#### 岡崎

- \* 拠点の設定→歩いて行ける場所。商店街に拠点を構えたのは正解。
- \* 若い人材→どのような人材が欲しいのか焦点を絞ることが必要。

#### センター

各地区から出尽くしたので割愛

### 個別意見

いつでも、だれでもというコンセプトが素晴らしい。即応性が大事というメッセージも納得した。

「行動する側が楽しくなければ」は共感する。(撫子青年指導員のモットーでもある)

自分も日頃から地域づくり活動を行っている中で参考にすべき内容が何点かあった。

地域の問題にいち早く気付き立ち上がった所。賛同者を集められたエネルギーが素晴らしいです。

年齢層も活動種類も幅広いのに感心した。アイデアを素早く実行に移すなかなか出来ない事で参考になった

以上